



11/22 菊池北中バレー部の2人が  
県選抜メンバーに選出

菊池北中学校バレー部3年の川口憂哉さんと岩永祥吾さんが県選抜チームのメンバーに選出され、報告のため市役所を訪問しました。江頭市長は「楽しんで戦って来てほしい。優勝目指して頑張る」と2人を激励。川口さんは「支えてくれた人への感謝を忘れず頑張ります」、岩永さんは「選ばれたからには優勝目指して頑張りたい」とそれぞれ応えました。全国大会は平成25年12月25日から28日まで大阪府で開催されました。



左から江頭市長、選抜メンバーの岩永さんと川口さん

11/21 いつまでも元気に  
生き生き交流会を開催

菊池高齢者大学11月教養講座「生き生き交流会」が、菊池市文化会館で開催されました。交流会には菊池女子高校社会福祉科の生徒23人と約70人の高齢者が参加。歌やダンス、手遊びのほか、雪だるまの折り紙、風船バレー、魚釣り、布花のアクセサリー、ハンドマッサージ、ビンゴゲームなどがあり、生徒との交流を楽しみました。会場は笑いと歓声に包まれ、笑顔あふれる講座となりました。



1. 生徒に習いながら布花のアクセサリー作りに挑戦 2. みんなで風船バレー 3. 折り紙で雪だるまを作りました

11/19 桜でみんなをおもてなし  
菊池北小で巨大絵手紙

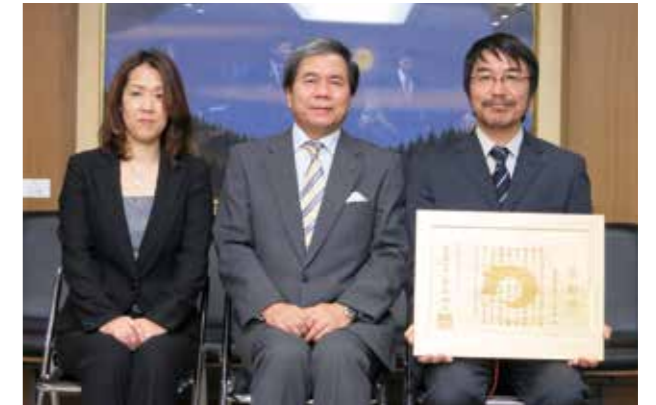
菊池北小の絵手紙クラブの児童10人が、巨大な桜の絵手紙(縦274cm、横138cm)を制作しました。これは4月に本市で開催予定の全国桜シンポジウムで展示し、来場者に喜んでもらおうと作られたものです。児童たちは、桜の切り絵や事前にかけていた絵手紙約60枚を貼り付け、メッセージを添えて制作。6年の岩崎珠緒さんは「大変だったけど花びらを貼ったり言葉を入れたりするのが楽しかった。きれいにできたのでうれしい」と笑顔を見せました。



絵手紙を制作した菊池北小の児童たちと先生、講師の村川尚子さん(上段左)

11/19 熊本県男女共同参画  
推進事業者表彰

社会福祉法人広友会が熊本県男女共同参画推進事業者表彰を受賞しました。この賞は、仕事と家庭の両立支援、女性の登用など、男女が共に働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰するものです。広友会は、女性の勤続年数や年次有給休暇の取得率が極めて高く、働きながら子育てする労働者への支援制度が整備され、仕事と家庭の両立を支援していることが評価されました。



浦島郁夫熊本県知事から表彰状を受け取った、広友会の上田和宣常務理事施設長と三池あゆみさん

11/22 菊池幼稚園がワンツーフイ  
ニッシュ!県Pスポーツ大会

第11回熊本県私立幼稚園PTA連合会スポーツ大会(ビーチボールバレー)が益城町総合体育館で開催され、菊池幼稚園が優勝と準優勝を飾りました。大会には県内私立幼稚園45チーム約300人が参加。菊池幼稚園は昨年の初優勝に続き2連覇を達成しました。出場した菊池幼稚園の保護者は「2連覇をワンツーフイニッシュで達成することができてうれしい。来年も優勝目指して頑張りたい」と喜びを語りました。



ワンツーフイニッシュを飾った菊池幼稚園PTAの皆さん

11/22 幻のシイタケ「204」  
新ブランド名は「黒香」

地元生産者団体でつくる「原木椎茸こだわり会」と熊本県椎茸農協が、幻のシイタケ「204」の新ブランド「黒香」の発表会と試食会を行いました。「204」は、全国で唯一本市のみで生産されている品種で、通常のシイタケに比べ色が濃く、シイタケが持っている本来の味と香り、歯ごたえの良さが大きな特徴。近年は生産が途絶えていましたが、同会が復活に乗り出し、現在は市内の物産館のほか、熊本市や東京都内の百貨店で販売しています。



新ブランド「黒香」の商品、ポスターや法被を披露する原木椎茸こだわり会の皆さん

11/21 認定農業者連絡協議会  
平成25年度講演会

4地域(菊池・七城・旭志・泗水)の認定農業者の会で組織する菊池市認定農業者連絡協議会の講演会が、市内の旅館で開催されました。これは認定農業者の資質向上を目的に毎年行われているもので、今年は約70人の認定農業者が参加しました。講師には江頭実市長を招き「農林畜産業について」と題して講話。農林畜産業に関する話のほか、観光やまちづくりについての話もあり、参加者は真剣に耳を傾けていました。



農林畜産業の重要性について語る江頭市長と耳を傾ける参加者の皆さん

11/20 健康に暮らそう  
第2回健康づくり講演会

第2回健康づくり講演会が旭志公民館で開催され、老人クラブの会員など約60人が参加しました。(有)ワイエス健康づくりサポートセンターの中村誠三先生が「歩かなくなった日本人」と題し講演。「運動は大事だけれど、やりすぎもだめ。腹八分に食べて、ニコニコ運動しましょう」と、健康で長生きするためには適度な運動が必要と話しました。参加者は真剣な表情で聴いたり、うなずいたりして、先生の話に聴き入っていました。



脳を活発にする運動も行いました



11/1 ~ 3 みんなで防災 菊之池防災教育キャンプ

災害時の活動を体験する2泊3日の防災教育キャンプが菊之池小学校で開催され、児童や地域住民およそ80人が参加しました。キャンプは大雨洪水による停電・断水の非常時を想定。児童たちはけがの応急処置や段ボールハウスでの寝泊り、限られた水や食料での生活、担架や土のう作りを体験し、「自助力」「共助力」の大切さを学びました。また、消防署員から昨年の九州北部豪雨や防災に関する話を聞き、災害に備えることの重要性も学びました。



水を食い止める実験で土のうの役割を学ぶ子どもたち

11/1 長年の功績をたたえて 更生保護女性会に感謝状

更生保護法人熊本自営会から菊池市更生保護女性会（高山和子会長）に感謝状が贈呈されました。更生保護女性会は会員約60人で、罪を犯した人の更生の支援や犯罪のないまちづくり、青少年健全育成に取り組み、保護司会菊池分会と共に街頭や祭りのイベントなどで啓発活動をしています。

高山会長は「更生の手伝いを長年積み重ねてきたことが認められてうれしく思います。今後もできる限り活動を続けていきたい」と語りました。



受賞された更生保護女性会の皆さんと中村鉄男教育部長（右上）

10/31 熊本県文化財功労者表彰

平成25年度熊本県文化財保護大会が宇土市で開催され、吉岡一男さん（三万田）、緒方昌也さん（内島）が、文化財功労者を受賞しました。

2人は本年3月までの約21年間、文化財保護委員に従事。その間、郷土の歴史研究や文化財冊子の編集・執筆作業、文化財案内や後進育成など本市の歴史・文化財研究や啓発に貢献しました。

2人の長年にわたる実績が評価され、今回の表彰となりました。



受賞した緒方さん⑧と吉岡さん⑧

10/19 みんなで森をきれいに 西部の森づくり活動

西部電気工業（福岡市）とグループ会社の社員とその家族、菊池森林組合、市職員など136人が参加し、旭志の市有林でボランティアの下草刈りを実施しました。この活動は「西部の森づくり活動」の一環として同社と市が森づくり協定を締結し、植樹、下刈り、間伐などの森林整備や交流を行っているもので今年で4回目。参加者は急こう配の斜面で足場が不安定な中、4月に植樹した場所の雑草をきれいに刈り取っていました。



山の斜面で雑草を刈り取る参加者の皆さん

11/5 ワンダーぶんこ 15周年感謝祭

泗水東小学校（松本拓也校長）で活動している読み聞かせグループ「ワンダーぶんこ」の結成15周年を記念し、感謝祭がありました。会場では最初に「花さき山」を映像と共に朗読。次に「めっきらもっきらどおんどん」の絵本が朗読されると、ワンダーぶんこのメンバーが本の登場人物に扮して劇を行い、児童たちを本の世界に引き込んでいました。最後に松本校長よりワンダーぶんこの皆さんに感謝状が贈られると、会場から盛大な拍手が送られました。



ワンダーぶんこの演劇を見て楽しむ児童たち

11/3 第4回読書感想画 ブックレター表彰式

旭志公民館図書室が主催する読書感想画・ブックレターの表彰式が、旭志公民館で行われました。金賞受賞者は次のとおりです。（敬称略）

読書感想画 3歳児の部 井上偉月 4歳児の部 本山貴倅 5歳児の部 坂本飛龍 小学1年の部 糸岡雅斗 小学3年の部 田中輝琉 小学4年の部 松本晴希 中学生の部 戸浦駿哉

ブックレター 低学年の部 田中麗 中・高学年の部 水上真菜 中学生の部 本山奨真



受賞者の皆さん

10月 菊池の秋は芸術の秋 11月 第9回菊池市文化祭

菊池、七城、旭志、泗水の4会場で開催されました。今回は旭志公民館で初となる4支部合同開会式を実施。各会場では幼児から高齢者まで幅広い年代の皆さんの絵画、短歌、陶芸などの作品展示や小・中学生による茶道の御点前、子ども生け花体験など地域の特色を生かした活動が披露されました。舞台では吹奏楽、コーラス、大正琴などの演奏や民謡、日本舞踊、社交ダンス、シャンソンなどそれぞれ1年間の研鑽の成果を披露しました。



1. 旭志会場で披露された優雅なフラダンス 2.3. 各会場にはさまざまな作品が展示され来場者の目を楽しませました 4. 七城会場の三味線披露





11/17 地域と共に40年  
イノアック祭

赤星に工場がある(株)九州 INOAC (イノアック) が、菊池工場設立 40 周年を記念し「イノアック祭」を開催しました。同社は昭和 48 年 8 月に市の誘致企業第 1 号として設立。当時は「菊池井上ゴム化成株式会社」としてスタートし、熊本県工業大賞特別賞など受賞しています。

記念祭では、七城天守太鼓の演奏を皮切りに〇×クイズなどさまざまなイベントが行われ、訪れた地域住民や社員が楽しみながら親睦を深めていました。



たくさんの地域住民が訪れ 40 周年を祝いました

11/12 風邪を予防しよう  
小中学校に菊池茶を贈呈

菊池市茶業振興会(赤星誠哉会長)がインフルエンザや風邪の予防と PR のため、市内の小・中学校にお茶 62kg を贈呈しました。七城公民館で贈呈式があり、赤星会長から代表して隈府小の原田和幸校長に手渡されました。今回贈呈されたお茶はベニフウキという品種で、通常のお茶よりカテキンの量が豊富なお茶。赤星会長は「これから風邪やインフルエンザが流行する季節。予防に役立てていただき、おいしく飲んでもらえたら」と話しました。



原田校長にお茶を手渡す赤星会長

11/5 本場の「寄席」が  
菊池にやってきた!

落語協会所属の芸人による本場の寄席が菊池市文化会館で開催されました。漫才、噺家など総勢 5 人が出演。オープニングの出囃子講座に引き続き、噺家による落語で会場は笑いの渦に。紙切り芸では軽快な話と軽やかなハサミ使いで昔話の一コマや「くまモン」などを披露し会場を沸かせました。旭志出身の利さんが組む漫才コンビ「ホンキートンク」の漫才では、会場から大きな笑い声と盛大な拍手が送られていました。



1. 紙切り芸を披露した林家二楽さん 2. トリを務めた春風亭柳朝さんの落語 3. 息の合った漫才を見せるホンキートンク

11/5 道の駅「泗水」養生市場  
くまもとグリーン農業表彰

くまもとグリーン農業推進県民大会が熊本市男女共同参画センターで開催され、道の駅「泗水」養生市場がくまもとグリーン農業応援宣言部門で表彰を受けました。この賞は、きれいで豊かな地下水と熊本の美しい自然環境を守る活動に著しい功績があった個人や団体を表彰するものです。道の駅「泗水」養生市場は、エコファーマー認定の取り組みや、県内外でくまもとグリーン農業農産物の消費拡大に貢献する活動が評価され今回の受賞となりました。



(有)有朋の里泗水の山下和貴代表取締役と養生市場出荷者協議会の佐々木秀二会長

11/19 熊本県税務職員に  
辞令を交付しました

市役所で辞令交付式があり、江頭実市長から県税務職員 5 人に本市の併任職員辞令が交付されました。

県と本市は、県税と市税の徴収向上対策のために、本市の税務職員として任用される熊本県の税務職員の派遣に関する協定を締結しました。

今後は、辞令を受けた 5 人のうち 1 人の県税務職員が月 5 日程度、本市で地方税の滞納者を対象とした徴収事務を行います。



江頭市長から辞令を受け取る県税務職員

11/17 竜門ダムウォーキング  
龍門ふるさとまつり

竜門ダムウォーキングと龍門ふるさとまつりが竜門ダム周辺で開催され、市内外から多くの人々が来場しました。竜門ダムウォーキングには子ども連れの家族など 343 人が参加。あいにくの曇り空となりましたが、参加者は大自然を満喫していました。

龍門ふるさとまつりでは、あすなる保育園の園児による組体操の披露や地元農産物のセリ市、シイタケ炭火焼の販売などがあり、来場者は舌鼓を打ちながら祭りを楽しんでいました。



1. シイタケの炭火焼 2. 地元農産物のセリ市は大勢の来場者でにぎわいました 3. 竜門ダムウォーキングで自然を満喫

11/10 菊池のお宝発見!  
菊池夢レトロ祭

第 1 回菊池夢レトロ祭が菊池市体育センターで開催されました。これは、菊池のレトロなお宝を発見して自慢しようという新しいイベント。会場には昔懐かしい家電製品、おもちゃ、陶器やレコードなどさまざまなお宝が並べられ、訪れた人々は懐かしそうに手にとったり眺めたりしていました。また、こま回しコーナーや人形劇で昭和のヒットメロディーを歌う「歌謡ショー」などもあり、子どもから大人まで昔の遊びや娯楽を楽しんでいました。



1. 昔懐かしいおもちゃ 2. こま回し遊びに熱中する子どもたち 3. 昔の家電製品も数多く展示

11/10 ダンスで盛り上がり!  
フラッシュモブ in 菊池

菊池市観光大使「劇団にゃあ」のメンバーと市民有志約 30 人が、菊池市民広場と菊池市体育センターでフラッシュモブを披露しました。フラッシュモブとは、群衆に紛れた人々が流れてきた音楽に合わせて突如踊り出すもので、同劇団主宰の平直樹さんが「菊池市を盛り上げたい」との思いから企画。同広場では菊人形・菊まつりが開催中で、来場者に紛れていたメンバーが突然踊り出すと、見物客からは手拍子や拍手が送られていました。



マイケル・ジャクソンの曲「Beat it」に合わせて踊り出した劇団と市民有志の皆さん